



ぐんま“まちづくり”ビジョン 富岡市アクションプログラムによるまちづくり

富岡市 都市計画課

■ぐんま“まちづくり”ビジョン富岡市アクションプログラムの改定

富岡市では第1期ぐんま“まちづくり”ビジョン富岡市アクションプログラム(以下、AP)の実施期間が終了したことから令和3年度は改定に向け、検証と見直しを行い、第2期APとして令和4年4月に公表しました。

■改定の経過

まずは、第1期APの具体的な取組の実施状況について、各担当に照会を実施しました。その結果、重点プロジェクトでは実施率が高い一方で、重点プロジェクト以外の取組については、必ずしも実施率が高くないことやAP自体が担当に認知されていない等の課題がありました。

したがって、改定においては、実現性を高めることを念頭に、APの意義や5ヶ年での行動計画といった意図を周知し、各担当が具体的な取組を選定する形としました。

更に、APの上位計画である総合計画が中期計画へと移行し、「立地適正化計画」と「地域公共交通網形成計画」も含めた都市計画のマスタープランである「都市と交通のマスタープラン」が策定され、望ましいまちづくりの将来像『世界遺産にふさわしいまち とみおか』の実現に向け、第2期APでは、「いつまでも活力に満ち溢れている富岡のまちなか」「まちのまとまりが保たれている富岡の郊外」をまちづくりの基本目標とし、上位計画との整合も図った具体的な取組として選定しました。市内全域の11事業、まちなかの14事業、郊外の7事業の全32事業を具体的な取組としています。

■具体的な新規の取組事例

具体的な取組の中でも今後のまちづくりにおいて重視していく新規事業を紹介します。

・上州富岡駅北地区再整備事業

都市構造再編集中支援事業を活用し、生活道路・公園整備等により、安全で利便性の高い都市基盤の整備を図り“まちのまとまり”を維持するための居住人口の増加と地域の活性化、駅周辺の回遊性の向上を図ります。

・まちなか道路における歩道空間 オープンテラスの実施

まちなかのにぎわいを創出するため、官民連携事業としてまちなかの道路歩道部にテーブルやイスを設置し、地元業者に歩道へ出店してもらってオープンテラスを実施します。まちなかのイベントと同時期に実施できるよう、タイミング等についても調整を図ります。

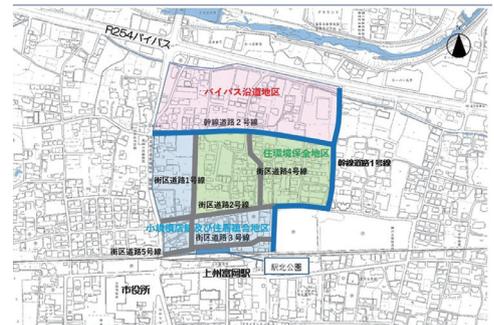
・富岡北部運動公園の再整備

設置から20年以上経過した公園施設の老朽化に対する安全性の確保や機能の維持強化、また遊具や休憩施設の充実による子育て支援の強化を図るため、計画的に公園改修を実施します。

■終わりに

第2期APを今後5年間のまちづくりの実行計画として、市のまちづくりの将来像の実現に向け、行政と民間団体が英知を結集し、実現していきたいと考えています。

世界遺産にふさわしい“まち”、市民が安心して暮らし続けられる“まち”、観光客が何度も訪れたいくなる“まち”の実現に向け取り組みます。



上州富岡駅北地区再整備計画



歩道空間の実施イメージ



北部運動公園再整備のイメージ